

令和6年度 第2期八潮市 まち・ひと・しごと創生総合戦略



～令和5年度事業評価～

総合戦略 基本目標別総括評価シート

基本目標 1 産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり							
数値目標							
指標名	単位	現状値		R4	R5	R6	R7
八潮市の有効求人倍率 ※ (年度の平均値)	—	(R2年度就業地別)	計画	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持	現状値と同程度を維持
		1.61	実績	1.95	—	—	—
		(R2年度住所別)	実績	1.79	2.18		
		1.25	(住所別)				

事業の状況					
事務事業名	活動評価	KPI名	達成度評価	備考	
1 中心商業拠点の形成事業	B	八潮駅周辺地区における商店街組織数／年間	B		
2 経営革新取組企業支援事業	A	経営革新計画承認件数／累計	B	   	
3 工業支援事業	A	事業承継事業所数／年間	A	   	
4 地産地消推進事業	A	直売所利用者数／年間	B	       	
5 北部拠点まちづくり事業	A	北部拠点地区の進出事業所数／年間	A	  	

※八潮市の有効求人倍率は、令和4年度分まで就業地別有効求人倍率を採用していましたが、ハローワークにおいて、令和5年11月以降、就業地別有効求人倍率が算定されないこととなったため、令和5年度以降の値は、住所別有効求人倍率の数値を実績値としています。

【令和4年度までの実績値】

就業地別有効求人倍率

就業地が八潮にある求人
八潮市民の求職者数

→

【令和5年度以降の実績値】

住所別有効求人倍率

本社や事務所が八潮にある求人
八潮市民の求職者数

※就業地が八潮とは限らない。

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	1 中心商業拠点の形成事業			部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～				
	大施策(節)	2	魅力あふれる商業づくり（商業・サービス業）				
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり				
	具体的な施策	中心商業拠点の形成					
	事業内容	・中心商業拠点を形成するため、八潮駅周辺事業者の組織化を推進し、市内商店会との連携を図り、市内全域の商業活性化を支援する。これにより、市内経済の活性化が図られる。					

事業の実施状況（見込み）			事業費（千円）			事業の評価		
R4	コロナの状況を見据えながら、組織化に向けた取組みの検討を行った。		0	(内0)		① 活動の実施状況の評価		
						A:概ねできた(80%以上)	● B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった
						理由	令和元年度に実施した八潮駅周辺商業魅力UPセミナー参加した事業所（グループ）を中心に、組織化に向けたさらなる意識の醸成を図るための取組みを検討した。	
R5	令和6年度実施予定の八潮駅周辺事業者意向等調査に向け、調査対象地区や調査業種の検討を行った。		0	(内0)		② KPI 達成度		
						A:達成した(100%)	● B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)
						理由	令和5年5月8日に5類に移行したものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対して組織化の意識醸成を図ることは難しかったが、「アフターコロナ」を見据えた今後の事業の運営や、組織化に向けた継続的な取組を検討することができた。	
R6						③ 成果向上のための課題と対応策		
						課題	八潮駅周辺の事業者の組織化には、駅周辺のにぎわいづくりに積極的な事業者と、事業者同士のつながり、事業者の意識醸成が必要となる。	
						対応	八潮駅周辺事業者意向等調査において組織化に対して前向きな回答があった事業者に、セミナー等に参加してもらい、組織化に向けた意識の向上と目的の共有を図る。	
R7						方向性	● :現状のまま継続	:休止・廃止
							:見直して継続	:他事業と統合して継続
							→ 重点化(拡充)	手段を改善
							効率・簡素化	その他

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
八潮駅周辺地区における商店街組織数／年間	件	0	計画	0	0	0	2
			実績	0	0		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	2 経営革新取組企業支援事業			部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～				
	大施策(節)	3	活力ある工業づくり				
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり				
	具体的な施策	経営近代化の促進					
	事業内容	・経営の向上を図るため、中小企業新事業活動促進法に基づき、中小企業が行う新技術の活用や異分野連携による新事業開拓などを支援する。これにより事業所の生産性向上、事業拡大が図られる。					

事業の実施状況（見込み）			事業費（千円） （内一般財源）	事業の評価			
R4	八潮市商工会と連携して、経営革新計画の申請を行う意向のある3事業所に専門家を派遣した。		140 (内140)	① 活動の実施状況の評価			
				● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった			
R5	八潮市商工会と連携して、経営革新計画の申請を行う意向のある3事業所に専門家を派遣した。		200 (内200)	理由	② K P I 達成度		
					A:達成した(100%) ● B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)		
R6				理由	③ 成果向上のための課題と対応策		
					課題 経営革新計画承認企業は年々増加してきているが、まだ、経営革新計画承認制度について、認知度が低い状況である。		
R7				対応	経営革新計画承認制度を取得するメリット等について、市内企業に理解を深めるためのPRを行う。		
					方向性 ● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了 :見直して継続 :他事業と統合して継続 ↳ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その他		

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
経営革新計画承認件数／累計	件	96	計画	114	123	132	141
			実績	105	110		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	3 工業支援事業			部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～				
	大施策(節)	3	活力ある工業づくり				
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり				
	具体的な施策	工業環境の整備					
	事業内容	・ 中小企業経営者の高齢化が進む中、事業承継が大きな課題となっている。そこで「後継者の教育」「経営体制の整備」など長期的に取り組むことが必要であることから、セミナーを実施し、事業承継に向けた事業者の意識を高める。これにより、市内事業所の事業継続が図られる。					

事業の実施状況（見込み）		事業費（千円） （内一般財源）	事業の評価			
R4	八潮市商工会と連携し、「事業承継セミナー」や「事業承継個別相談」を実施した。	165 (内165)	① 活動の実施状況の評価			
			● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった			
R5	八潮市商工会と連携し、「事業承継セミナー」や「事業承継個別相談」を実施した。	165 (内165)	理由	② K P I 達成度		
				● A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)		
R6			課題	③ 成果向上のための課題と対応策		
				本市は県内第3位の事業所数を有しているが、様々な要因により事業所数が年々減少している。中でも事業承継については、全国的にも課題とされている。		
R7			対応	事業が継続できるよう事業承継セミナー等を開催し、引き続き事業継続に向けた意識の醸成を図る取組を行う。		
				方向性	● :現状のまま継続	
					:休止・廃止	
					:見直して継続	
					:他事業と統合して継続	
					↳ 重点化(拡充)	
					手段を改善	
					効率・簡素化	
					その他	

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
事業承継事業所数／年間	件	0	計画	0	0	0	1
			実績	0	1		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	4 地産地消推進事業			部	市民活力推進部	課	都市農業課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～				
	大施策(節)	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり				
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり				
	具体的な施策	地産地消の推進と農産物のブランド化					
	事業内容	・新たな需要の拡大や販路の開拓を促進するため、市独自の認定制度の創設等により八潮の八つの野菜のブランド化や情報発信によるイメージアップを図る。					

事業の実施状況（見込み）			事業費（千円）			事業の評価		
R4	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPR事業を展開した。また引き続き枝豆に貼る枝豆ブランドシールを作成し、八潮市産枝豆のブランド化を図ることにより、八潮産農産物のイメージアップと消費拡大を図った。		289	(内289)		① 活動の実施状況の評価		
						● A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった
					理由	やしお枝豆まつり等のイベントで枝豆等の購入者に対して、地場産野菜をPRすることができた。		
R5	八潮の八つの野菜を各種イベントを通じてPR事業を展開した。また引き続き枝豆に貼る枝豆ブランドシールを作成し、八潮市産枝豆のブランド化を図ることにより、八潮産農産物のイメージアップと消費拡大を図った。		289	(内289)		② KPI 達成度		
						A:達成した(100%)	● B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)
					理由	市内大型スーパーの直売コーナーにも地場産野菜が流通しているなかで、八潮市ふれあい農産物直売所の客数は、計画には達していないが、順調に伸びている。		
R6						③ 成果向上のための課題と対応策		
					課題	八潮市産農産物のイメージアップと消費拡大を図る必要がある。		
R7					対応	「やしおの八つの野菜」を特産品としてブランド化してイメージアップを図り、特に枝豆については、より多くの方に美味しさを知っていただくため、「枝豆まつり」における試食会や枝豆の販売を通して、引き続きPRを行っていく。また、農業祭において品評会を実施し、出品された野菜を販売するなどPRに努めていく。		
					方向性	● :現状のまま継続	:休止・廃止	:終了・完了
						:見直して継続	:他事業と統合して継続	
						→ 重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化
							その他	

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
直売所利用者数／年間	人	62,644	計画	75,200	76,800	78,400	80,000
			実績	62,312	63,305		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	5 北部拠点まちづくり事業			部	都市整備部	課	都市計画課
総合計画	施策の柱(章)	5	都市基盤・環境～快適でやすらぎと潤いのあるまち～				
	大施策(節)	1	自然と調和した都市空間づくり				
総合戦略	基本目標	1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働ける環境づくり				
	具体的な施策	都市核と地域核の形成					
	事業内容	・外環八潮PA整備や外環八潮スマートICの設置及び流通業務機能、道の駅などの集客施設等の導入による拠点形成を図るため、「北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画」に基づき地元マネジメント組織を立ち上げ、個別開発によるまちづくり（企業立地）を促進する。					

事業の実施状況（見込み）		事業費（千円） （内一般財源）	事業の評価						
R4	（仮称）外環八潮スマートＩＣの新規事業化に向け、関係機関との調整を進めるとともに国への要望活動を行い、９月30日に新規事業化が決定した。 （仮称）外環八潮スマートＩＣ等の都市計画決定に向けた関係機関との協議を進めた。 まちづくり計画に基づく、地元マネジメント組織の設立に向け、地元町会等との勉強会を開催した。	24,060 (内24,060)	① 活動の実施状況の評価						
			● A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった				
R5	（仮称）外環八潮スマートＩＣ及び関連道路施設について都市計画変更告示を行うとともに、都市計画事業認可取得に向け、調整を行った。 北部地区内において、「道の駅」の整備を検討するため基本構想を策定した。 北部拠点まちづくり推進地区開発基本方針等について検討する際の基礎資料とするために、サウンディング型市場調査を行った。	15,154 (内15,154)	② K P I 達成度						
			● A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)				
R6			③ 成果向上のための課題と対応策						
			課題	（仮称）外環八潮スマートＩＣ及び関連道路施設の整備に向け、都市計画事業認可の取得に向けた手続きを進めるとともに、国やネクスコ東日本等の関係機関との協議・調整が必要である。次に、道の駅については、排水計画や導入施設等の検討を行う必要がある。					
R7			対応	（仮称）外環八潮スマートＩＣ及び関連道路施設の整備に向け、国等の関係機関と調整を進めるとともに、埼玉県、ネクスコ東日本と都市計画事業認可の取得に手続きを進める。次に、（仮称）道の駅については、基本計画の策定に向けた準備としてサウンディング型市場調査等を実施し導入施設の検討を進めるとともに、国道管理者と雨水排水計画について協議・調整を行う。					
			方向性		:現状のまま継続		:休止・廃止		:終了・完了
				●	:見直して継続		:他事業と統合して継続		
				↳	重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化	その他	

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
北部拠点地区の進出事業所数／年間	件	0	計画	0	0	0	1
			実績	0	0		

総合戦略 基本目標別総括評価シート

基本目標	2	人や情報の交流による「住みやすさナンバー1のまち八潮」の発信					
数値目標							
指標名	単位	現状値		R4	R5	R6	R7
八潮市に「住み続けたい」人の割合（20～40代） ※「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」の合算値 （無回答は除いて算出）	%	69.9 （R1年度）	計画	75.0	—	—	80.0
			実績	67.6	—		

事業の状況					
事務事業名	活動評価	KPI名	達成度評価	備考	
1 広報事業	A	市ホームページ閲覧数／年間	A	16 平素と公営をすべての人に	
2 コミュニティ施設整備事業	A	町会自治会館備品購入／累計	A	17 パートナーシップで未来を創ろう	
3 観光資源開発事業	A	入込観光客数／年間	B	8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくも責任 つかう責任 15 陸の豊かさも守ろう	

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	1 広報事業		部	企画財政部	課	秘書広報課
総合計画	施策の柱(章)	6	新公共経営～協働で経営する自主・自律のまち～			
	大施策(節)	2	市民に開かれたまちづくり			
総合戦略	基本目標	2	人や情報の交流による「住みやすさナンバー1のまち八潮」の発信			
	具体的な施策	広聴・広報の充実				
	事業内容	・本市の産業や観光資源などの「八潮市の魅力」について、様々な広報媒体を活用して効果的に発信する。				

事業の実施状況（見込み）		事業費（千円）	事業の評価				
		(内一般財源)					
R4	市ホームページ、広報やしお及びやしお840メールを活用するとともに、SNSを活用した情報発信を行った。また、動画配信サイト等を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報や開催風景の動画等を市内外へ発信した。	22,911,664	① 活動の実施状況の評価				
		(内19,881,022)	● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった				
R5	市ホームページ、広報やしお及びやしお840メールを活用するとともに、SNSを活用した情報発信を行った。また、動画配信サイト等を活用し、市内で行われる様々なイベントの情報や開催風景の動画等を市内外へ発信した。	22,983,821	理由	② K P I 達成度			
		(内19,838,821)		● A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)			
R6			課題	③ 成果向上のための課題と対応策			
				ホームページの活用をはじめ、積極的な情報発信について、引き続き職員の意識付けやSNSなどの新たな情報発信ツールの検討が必要である。			
R7			対応	ホームページやSNSの活用について、庁内LANの業務掲示板やシティセールス推進委員会などで、定期的な庁内周知を図ると共にホームページやメール配信サービスの操作研修会を実施し、職員のレベルアップを図る。また、市民への情報提供について、LINEによる情報発信を行う。			
		方向性		● :現状のまま継続	:休止・廃止	:終了・完了	
				:見直して継続	:他事業と統合して継続		
				↳ 重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化	その他

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
市ホームページ閲覧数／年間	件	1,052,228	計画	1,100,000	1,155,000	1,212,000	1,272,000
			実績	1,613,322	1,510,699		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	2 コミュニティ施設整備事業		部	市民活力推進部	課	市民協働推進課
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～			
	大施策(節)	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり			
総合戦略	基本目標	2	人や情報の交流による〔住みやすさナンバー1のまち八潮〕の発信			
	具体的な施策	コミュニティ環境の整備				
	事業内容	・地域コミュニティの活動拠点である町会・自治会館の改修や修繕、活動に必要な備品等の購入を支援することで、地域コミュニティの活性化を図り、世代間の交流を促進する。				

事業の実施状況（見込み）			事業費（千円）			事業の評価		
R4	①(一財)自治総合センターのコミュニティ助成金を活用し、町会・自治会の備品購入に対し補助金を支給した。 (新田町会・伊勢野自治会)		3,800	(内0)		① 活動の実施状況の評価		
						● A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった
						理由	1件の町会・自治会に対して、コミュニティ活動に必要な備品等の購入を支援することで、地域コミュニティの活性化を図り、世代間の交流を促進することができた。	
R5	①(一財)自治総合センターのコミュニティ助成金を活用し、町会・自治会の備品購入に対し補助金を支給した。 (大原町会)		1,400	(内0)		② K P I 達成度		
						● A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)
						理由	町会自治会館備品購入を1件実施し、計画どおり累計4件実施することができた。	
R6						③ 成果向上のための課題と対応策		
						課題	補助金の制度を知らない町会自治会があり申請件数が少ない年がある。	
						対応	総会等の機会に、補助金の制度を全町会自治会に周知する。	
R7						方向性	● :現状のまま継続	:休止・廃止
							:見直して継続	:他事業と統合して継続
							重点化(拡充)	手段を改善
							効率・簡素化	その他

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
町会自治会館備品購入／累計	件	1	計画	3	4	5	6
			実績	3	4		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	3 観光資源開発事業			部	市民活力推進部	課	商工観光課
総合計画	施策の柱(章)	4	産業経済・観光～地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち～				
	大施策(節)	4	水と花にふれあう観光づくり				
総合戦略	基本目標	2	人や情報の交流による〔住みやすさナンバー1のまち八潮〕の発信				
	具体的な施策	観光の振興					
	事業内容	・「中川やしおフラワーパーク」「水辺の楽校」「やしお駅前公園」は本市の貴重な観光資源であることから、様々な観光イベント等を実施し、多くの観光客が訪れることで、本市の産業振興に寄与する。					

事業の実施状況（見込み）		事業費（千円） (内一般財源)
R4	中川やしおフラワーパーク、中川やしお水辺の楽校、やしお駅前公園を活用し、関係団体と協力しながら朝市や花桃まつり等のイベントを開催した。	2,640 (内2,640)
R5	中川やしおフラワーパーク、中川やしお水辺の楽校、やしお駅前公園を活用し、関係団体と協力しながら八潮夜市や花桃まつり、水辺の楽校秋まつり等のイベントを開催した。	3,664 (内3,664)
R6		
R7		

事業の評価											
① 活動の実施状況の評価											
●		A:概ねできた(80%以上)		B:あまりできなかった(80%未満)		C:活動できなかった					
理由	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、約4年ぶりに八潮夜市を開催することができたため。また、中川やしお子どもの水辺運営協議会と協力し、「水辺の楽校秋まつり」を初めて開催できたため。										
② K P I 達成度											
		A:達成した(100%)		●	B:概ね達成できた(80%以上)		C:達成できなかった(80%未満)				
理由	約4年ぶりに例年開催されていたイベントが全て実施でき、各イベントの来場者数が新型コロナウイルス感染症以前に戻りつつあるため。										
③ 成果向上のための課題と対応策											
課題	(一社)八潮市観光協会や中川やしお子どもの水辺運営協議会、駅前公園でイベントを実施する民間団体等と協力し、多くの観光イベントの開催を支援する。										
対応	(一社)八潮市観光協会や中川やしお子どもの水辺運営協議会、その他民間団体等との連携により、より安全で魅力あるイベントの開催ができるよう協議していく。										
方向性		●		:現状のまま継続				:休止・廃止			:終了・完了
				:見直して継続				:他事業と統合して継続			
		↳		重点化(拡充)		手段を改善		効率・簡素化		その他	

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
入込観光客数／年間	人	186,000	計画	212,000	213,000	214,000	215,000
			実績	52,000	192,000		

総合戦略 基本目標別総括評価シート

基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり					
数値目標							
指標名	単位	現状値		R4	R5	R6	R7
「子育て環境」の満足度 (20～40代) ※「満足」「やや満足」の 合算値（無回答は除いて算出）	%	16.3 (R1年度)	計画	21.0	—	—	26.0
			実績	14.0	—		
事業の状況							
事務事業名	活動 評価	K P I 名	達成度 評価	備 考			
1 地域子育て支援拠点事業	A	子育てひろば利用者数／年間	A				
2 利用者支援事業	A	相談件数／年間	A	 			
3 保育所整備事業	A	利用定員数（翌年度4月1日現在）	B	  			
4 放課後児童健全育成施設整備事業	A	定員数（翌年度4月1日現在）	A	  			
5 学童保育所管理運営事業	A	学童保育所利用者数／年間	A	      			
6 家庭教育推進事業	A	いのちの授業等実施回数／年間	B	 			
7 教育指導推進事業	A	全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	C	   			
8 小中一貫教育推進事業	A	全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	C				

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	1 地域子育て支援拠点事業		部	子ども家庭部	課	子育て支援課
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～			
	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり			
	具体的な施策	子育て支援の推進				
	事業内容	・子育て親子（概ね3歳未満の児童及び保護者）の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等を実施する。				

事業の実施状況（見込み）			事業費（千円） (内一般財源)	事業の評価							
R4	市内6か所で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流の場を提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施した。また、直営のひろばについては、NPO法人などへの委託方式を検討した。	38,883 (内19,929)		① 活動の実施状況の評価							
				● A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった					
R5	市内6か所で子育てひろばを開催し、子育て親子の交流の場を提供するとともに子育て情報の提供、相談等を実施した。また、直営のひろばについては、NPO法人などへの委託方式を検討した。	41,319 (内24,281)		理由	市内6か所の子育てひろばにおいて、子育て相談（340件）、身体測定（2,145人）、栄養相談（41件）、各種講習会（6,358人）を実施した。						
				② KPI達成度							
R6				● A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)					
				理由	コロナの感染症5類移行もあり、各ひろばの利用数は、計画値以上の利用実績があった。						
R7				③ 成果向上のための課題と対応策							
				課題	・直営の子育てひろばについて民間事業者へ委託し、民間の柔軟な発想や運営ノウハウなどから更なるサービスの充実を図る必要がある。 ・開催時間の延長を検討する必要がある。						
R7				対応	・直営のひろばについては、NPO法人などへの委託方式を検討する。 ・近隣市のひろばの開催状況の調査をする必要がある。 ・やしお子育て応援ナビを活用した周知を行う。						
				方向性	●	:現状のまま継続		:休止・廃止		:終了・完了	
						:見直して継続		:他事業と統合して継続			
					└→	重点化(拡充)		手段を改善		効率・簡素化	

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
子育てひろば利用者数／年間	件	20,248	計画	30,000	40,000	50,000	50,000
			実績	33,075	42,508		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	2 利用者支援事業		部	子ども家庭部	課	子育て支援課
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～			
	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり			
	具体的な施策	子育て支援の推進				
	事業内容	・ 駅周辺の子育て支援施設等に子育てコーディネーターを配置し、教育・保育施設や地域子育て支援事業等の利用に関する情報集約と情報提供を行うとともに、保護者からの相談に応じ、情報提供、助言を行うサービスについて、委託により実施する。				

事業の実施状況（見込み）			事業費（千円） （内一般財源）	事業の評価			
R4	「やしお子育てほっとステーション内」において「利用者支援事業」を実施した。 - 子育て応援サイトアプリを活用し、子育て支援に関する情報発信を行った。		7,561 (内2,200)	① 活動の実施状況の評価			
				● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった			
R5	「やしお子育てほっとステーション内」において「利用者支援事業」を実施した。 - 子育て応援サイトアプリを活用し、子育て支援に関する情報発信を行った。		8,630 (内7,713)	理由	② K P I 達成度		
					● A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)		
R6				課題	③ 成果向上のための課題と対応策		
					市役所内の利用者数増加を図るため、利用者支援事業の更なる周知と関係課との連携が必要である。		
R7				対応	市のホームページ、やしお840メール配信、子育て応援サイト等による周知に加え、乳児家庭全戸訪問などにおいてもチラシを配布するなど、関係課と連携し事業周知を図る。		
					方向性 ● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了 :見直して継続 :他事業と統合して継続 ↳ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その他		

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
相談件数／年間	件	329	計画	340	360	380	400
			実績	295	403		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	3 保育所整備事業		部	子ども家庭部	課	子育て支援課
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～			
	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり			
	具体的な施策	保育施設の整備				
	事業内容	・毎年4月1日時点における待機児童数を踏まえ、今後の駅周辺の住環境整備の進捗状況や女性就業率の上昇等を勘案し、民間認可保育所及び小規模保育事業所の整備等について検討する。				

事業の実施状況（見込み）			事業費（千円）			事業の評価		
						① 活動の実施状況の評価		
						● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった		
R4	・八潮駅周辺の住宅の整備状況や女性の就業率の上昇等から、待機児童が発生することが想定されるため、「第2期八潮市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育施設の整備について検討し、小規模保育施設（2施設）を整備した。 ・経年劣化が進行している公立保育所の代替施設の確保を含め、計画的な保育施設の整備を検討した。		0	(内0)		理由	待機児童を解消するため、民設民営の小規模保育施設（1施設）の開所に向けて事務を行い、令和6年4月1日に開所した。	
R5	・八潮駅周辺の住宅の整備状況や女性の就業率の上昇等から、待機児童が発生することが想定されるため、「第2期八潮市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育施設の整備について検討し、小規模保育施設（1施設）を整備した。 ・経年劣化が進行している公立保育所の代替施設の確保を含め、計画的な保育施設の整備を検討した。		0	(内0)		理由	計画値は達成できなかったが、民設民営の小規模保育施設（1施設）の開所に向けて事務を行い、令和6年4月1日に開所した。	
R6						③ 成果向上のための課題と対応策		
R7						課題	・経年劣化している公立保育施設の再整備について検討する必要がある。 ・住環境整備、女性の就業率の上昇等から、保育所の需要増が見込まれる。	
						対応	第2期八潮市子ども・子育て支援事業計画に基づき、待機児童の解消に向け、計画的に保育施設を整備する。	
						方向性	● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了 :見直して継続 :他事業と統合して継続 ↳ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その他	

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
利用定員数（翌年度4月1日現在）	件	1,664	計画	1,850	1,943	2,054	2,054
			実績	1,759	1,778		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	4 放課後児童健全育成施設整備事業		部	子ども家庭部	課	子育て支援課
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～			
	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり			
	具体的な施策	保育施設の整備				
	事業内容	・今後の駅周辺の住環境整備の進捗状況や女性就業率の上昇等を勘案し、学童保育所の整備について検討する。				

事業の実施状況（見込み）			事業の評価		
			事業費（千円） （内一般財源）		
R4	・八潮駅周辺の住宅の整備状況や女性の就業率の上昇等から、待機児童が発生することが想定されるため、「第2期八潮市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、学童保育所の整備について検討した。 ・社会福祉法人等の民間活力を導入して、学校敷地外での施設整備や送迎サービス等の仕組みについて検討した。	0 (内0)	① 活動の実施状況の評価 ● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった 理由 ・経年劣化しているどんぐり学童保育所の再整備について検討した。 ・社会福祉法人等の民間活力を導入して、学校敷地外での施設整備について検討した。 ・新設小学校に隣接する学童保育所の整備について検討した。		
R5	・八潮駅周辺の住宅の整備状況や女性の就業率の上昇等から、待機児童が発生することが想定されるため、「第2期八潮市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、学童保育所の整備について検討した。 ・社会福祉法人等の民間活力を導入して、学校敷地外での施設整備や送迎サービス等の仕組みについて検討した。	0 (内0)	② K P I 達成度 ● A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満) 理由 学童保育所の利用定員が計画値を上回った。		
R6			③ 成果向上のための課題と対応策 課題 ・経年劣化している学童保育所の移設整備の方策を検討する必要がある。 ・八潮駅を中心に児童数が増加しており、小学校の普通教室が不足し、空き教室を活用していた学童保育所を学校敷地外に移設する必要がある。		
R7			対応 学校敷地内への新設や移設が困難な場合には、社会福祉法人等により学校敷地外に施設を整備し、入所児童の安全・安心を確保する送迎サービスなどを行う新たな学童保育の提供や補助方式による運営等を検討する。		
			方向性 ☐ :現状のまま継続 ☐ :休止・廃止 ☐ :終了・完了 ☒ :見直して継続 ☐ :他事業と統合して継続 ☒ 重点化(拡充) ☐ 手段を改善 ☐ 効率・簡素化 ☐ その他		

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
定員数（翌年度4月1日現在）	件	670	計画	670	670	730	730
			実績	690	750		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	5 学童保育所管理運営事業		部	子ども家庭部	課	保育課
総合計画	施策の柱(章)	2	健康福祉・子育て～誰もがいきいきと暮らせるまち～			
	大施策(節)	8	全ての子どもの幸せづくり			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり			
	具体的な施策	保育内容の充実				
	事業内容	・子育て支援環境の充実を図るため、駅周辺に学童保育所を整備し、併せて駅周辺の学童保育所の開所時間を延長する。				

事業の実施状況（見込み）			事業費（千円） (内一般財源)	事業の評価					
R4	駅周辺の学童保育所の運営（補助）をするとともに、公設民営1か所、民設民営5か所、合計6か所の学童保育所において、開所時間を延長して開所した。	205,320 (内141,754)		① 活動の実施状況の評価					
				● A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった			
R5	駅周辺の学童保育所の運営（補助）をするとともに、公設民営1か所、民設民営5か所、合計6か所の学童保育所において、開所時間を延長して開所した。	212,537 (内148,464)		理由	合計6か所の学童保育所において開所時間を延長して学童保育所を運営することができたため。				
				② K P I 達成度					
				● A:達成した(100%)	B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)			
				理由	八潮駅周辺の保育需要の増加により、学童保育所利用者数が成果指標の目標を上回ることができたため。				
R6				③ 成果向上のための課題と対応策					
				課題	八潮駅周辺の保育需要の増加により、利用児童の増加や長時間保育に対するニーズなど、新たな保育ニーズへの対応が求められている。				
R7				対応	新たな学童保育所の整備や開所時間の延長について、民間活力を導入することで、保育需要の増大や新たな保育ニーズに柔軟に対応できるものと考えている。				
				方向性	● :現状のまま継続	:休止・廃止	:終了・完了		
:見直して継続	:他事業と統合して継続								
↳ 重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化	その他						

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
学童保育所利用者数／年間	人	6,797	計画	7,180	7,180	7,800	7,800
			実績	8,193	8,752		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	6 家庭教育推進事業			部	教育総務部	課	社会教育課
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～				
	大施策(節)	4	社会の要請に応えた教育の環境づくり				
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり				
	具体的な施策	家庭における教育の充実					
	事業内容	・命の大切さを学び、生きる力を育むためのいのちの授業等を市内小中学校において実施する。					

事業の実施状況（見込み）		事業費（千円） （内一般財源）	事業の評価			
R4	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を20回実施した。また、市内5校の小学校において小学6年生等及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を5回実施した。	675 (内595)	① 活動の実施状況の評価			
			● A:概ねできた(80%以上)	B:あまりできなかった(80%未満)	C:活動できなかった	
R5	市内全5校の中学校において、中学3年生を対象にクラス単位で「いのちの授業」を21回実施した。また、市内5校の小学校において小学6年生等及び保護者を対象に「いのちのおはなし」及び「家庭で伝えるいのちと性」を5回実施した。	734 (内614)	理由	② K P I 達成度		
				A:達成した(100%)	● B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)
R6			課題	③ 成果向上のための課題と対応策		
				未実施の学校があるため年間のスケジュールを再構築し事業を進めていく。		
R7			対応	講師が1人のため、講座の開催時期及び回数を検討し各小中学校との連携を図りながら、全校で開催できるよう事業を進めていく。		
				方向性	● :現状のまま継続	:休止・廃止
:見直して継続	:他事業と統合して継続					
↳ 重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化	その他			

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
いのちの授業等実施回数／年間	回	20	計画	25	27	27	30
			実績	25	26		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	7 教育指導推進事業		部	学校教育部	課	指導課
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～			
	大施策(節)	2	次代を担う人づくり			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり			
	具体的な施策	教育内容の充実				
	事業内容	・学習塾と連携し、児童一人ひとりのつまづきを把握し、それに応じた課題に取り組むことにより、個々の学力を伸ばし、学力向上を図る。				

事業の実施状況（見込み）		事業費（千円） （内一般財源）	事業の評価			
R4	市内小学校5年生を対象に学習塾講師による国語・算数の学習指導を全8回実施し、287名が参加した。1クラスあたり10人程度の習熟度別クラスを編成し、会場は市内各小学校を利用した。	6,424 (内6,424)	① 活動の実施状況の評価			
			● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった			
R5	市内小学校5年生を対象に学習塾講師による国語・算数の学習指導を全8回実施し、291名が参加した。1クラスあたり10人程度の習熟度別クラスを編成し、5名に対し1名の講師配置をした。会場は市内各小学校を利用した。	5,808 (内5,808)	理由	② K P I 達成度		
				A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) ● C:達成できなかった(80%未満)		
R6			課題	③ 成果向上のための課題と対応策		
				学習塾との連携事業は平成28年度から実施している。全国学力・学習状況調査における全国平均との差は年々小さくなり、小学校はプラスに転じてきた。引き続き、中学校も全国平均を上回るよう、事業の実施規模や実施時期、実施内容などを検討し継続していく。		
R7			対応	事業実施の成果と課題を検証し、実施規模や実施時期、実施回数、対象学年、クラス編成、学習内容等を必要に応じて工夫改善する。事業実施とともに、学校における日々の授業についても見直し、教師の授業力向上、魅力ある授業づくりを図るための指導・助言を行う。		
				方向性 ● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了 :見直して継続 :他事業と統合して継続 ↳ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その他		

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	ポイント	小-1.7 中-6.3	計画	小+2.0 中+1.0	小+3.0 中+1.5	小+4.0 中+2.0	小+5.0 中+2.0
			実績	小-1.9 中-4.2	小+0.2 中-3.8		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	8 小中一貫教育推進事業		部	学校教育部	課	小中一貫教育推進室
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～			
	大施策(節)	2	次代を担う人づくり			
総合戦略	基本目標	3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり			
	具体的な施策	教育内容の充実				
	事業内容	・小中学校9年間で円滑に接続し、「学力・体力の向上」と「豊かな心の育成」を目指し、「知・徳・体」のバランスの取れた児童生徒を育成するため、小中一貫教育を実施する。				

事業の実施状況（見込み）		事業費（千円） ----- (内一般財源)
R4	全小中学校を対象にした小中一貫教育の研究指定を継続した。八潮市教職員派遣研修に参加した教員を生かし、「八潮スタンダード」を活用した授業改善の更なる推進を図った。市内の八幡中学校ブロックにおいて研究発表会を開催した。	2,876 ----- (内2,876)
R5	全小中学校を対象にした小中一貫教育の研究指定を継続した。八潮市教職員派遣研修に参加した教員を生かし、「八潮スタンダード」を活用した授業改善の更なる推進を図った。市内の八条中学校ブロックにおいて研究発表会を開催した。	2,555 ----- (内2,555)
R6		-----
R7		-----

事業の評価							
① 活動の実施状況の評価							
● A:概ねできた(80%以上)		B:あまりできなかった(80%未満)		C:活動できなかった			
理由	小中一貫教育推進検討部会の各部会において、八潮スタンダードを活用した授業改善について研究し、市内各校で授業改善が推進された。また、八潮市の教育について、八潮中学校ブロックでの研究発表会や八潮の教育「合同報告会2023」を開催し、参加者から高い評価を受けた。						
② K P I 達成度							
A:達成した(100%)		B:概ね達成できた(80%以上)		● C:達成できなかった(80%未満)			
理由	全国学力・学習状況調査では、目標値を達成することはできなかったものの、小学校では全国平均を上回ることができた。また、中学校も数値が上昇傾向にある。これは、小中一貫教育の成果であると言える。また、埼玉県学力・学習状況調査においても、小学校では、県平均を上回り、中学校も県平均との差を縮めてきている。						
③ 成果向上のための課題と対応策							
課題	市内各校で授業改善が進んできているが、教科や学校により差が生じてきている。また、若手教員の増加や校内研修が停滞してきている学校がある。小中一貫教育の推進にあたり重視している授業での繋がりに焦点を当て、小学校での取組を中学校へ繋げ、全教科・全職員で授業改善を推進していく必要がある						
対応	市内各校での八潮スタンダードを活用した校内研修や小中一貫教育推進検討部会の充実、若手教員を対象とした授業研修会、校内研修を充実させるための大学との連携事業を実施するとともに、小坂町派遣教職員、学力向上指導員、指導主事を活用した授業実践の指導を通して、教職員の指導力向上に努める。						
方向性		● :現状のまま継続		:休止・廃止		:終了・完了	
		:見直して継続		:他事業と統合して継続			
		↳ 重点化(拡充)		手段を改善		効率・簡素化	

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	ポイント	小-1.7 中-6.3	計画	小+2.0 中+1.0	小+3.0 中+1.5	小+4.0 中+2.0	小+5.0 中+2.0
			実績	小-1.9 中-4.2	小+0.2 中-3.8		

総合戦略 基本目標別総括評価シート

基本目標		4 自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成					
数値目標							
指標名	単位	現状値		R4	R5	R6	R7
市民意識調査による市民の防犯対策の充実に対する満足度（「満足」「やや満足」の合算値） ※無回答を除き算出	%	9.4 (R1年度)	計画	14.5	—	—	19.5
			実績	12.7	—		

事業の状況					
事務事業名	活動評価	K P I 名	達成度評価	備 考	
1 防犯活動普及事業	A	犯罪認知件数／年間	C	16 平和と公正をすべての人に 	
2 防犯施設整備事業	A	全防犯灯数／延べ数	B	16 平和と公正をすべての人に 	
3 交通安全指導・教育事業	A	交通安全教室参加者数／年間	B	3 すべての人に健康と福祉を  11 住み続けられるまちづくりを 	
4 コミュニティ意識高揚事業	A	市民意識調査による、地域活動への参加状況 （「積極的に参加」「ときどき参加」の回答） ※無回答を除いて算出	—	5 ジェンダー平等を實現しよう  17 パートナリーシップで目標を達成しよう 	

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	1 防犯活動普及事業		部	生活安全部	課	交通防犯課
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急～誰もが安全で安心して暮らせるまち～			
	大施策(節)	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり（防犯）			
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成			
	具体的な施策	防犯力の強化				
	事業内容	・防犯協会を通じて防犯対策及び自主防犯組織の育成、支援を行い地域の防犯力の強化を図る。 また、オウム真理教対策や暴力排除、暴力団排除を推進するとともに、犯罪の起きにくいまちづくり（防犯環境設計）を推進する。				

事業の実施状況（見込み）			事業費（千円） （内一般財源）	事業の評価		
R4	防犯協会と協力して、青色回転灯パトロール車を活用した防犯活動の充実を図った。 自主防犯団体に対し防犯グッズを貸与し、自主防犯パトロール隊の育成を図った。 防犯関連団体対して補助金を交付し、活動の支援を図った。		3,304 (内3,304)	① 活動の実施状況の評価		
				● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった		
R5	防犯協会と協力して、青色回転灯パトロール車を活用した防犯活動の充実を図った。 自主防犯団体に対し防犯グッズを貸与し、自主防犯パトロール隊の育成を図った。 防犯関連団体対して補助金を交付し、活動の支援を図った。 オウム真理教対策として抗議行動を1回行った。		3,501 (内3,501)	理由	自主防犯団体に対する防犯グッズの貸与等による活動支援や草加警察署や防犯協会と連携した八潮駅前街頭キャンペーンの実施、青色回転灯パトロール車を活用した啓発活動の実施、オウム真理教への抗議行動の実施など防犯活動を実施できた。	
					② K P I 達成度	
R6				理由	A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) ● C:達成できなかった(80%未満)	
					犯罪認知件数が減少傾向であったが、自転車の盗難が急激に増加したことに伴い、犯罪認知件数も増加し、K P I を達成できなかった。	
R7				課題	③ 成果向上のための課題と対応策	
					自転車盗難が大幅に増加しており、盗難防止に関する啓発活動等が課題になっている。	
				対応	・草加地区防犯協会と連携し、街頭キャンペーンや青色回転灯パトロール車による呼びかけを強化する。 ・自主防犯団体への支援を継続し、地域における防犯意識の醸成を図る。	
					方向性	
					● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了	
					:見直して継続 :他事業と統合して継続	
					↳ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その他	

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
犯罪認知件数／年間	件	648	計画	600	600	600	600
			実績	841	1025		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	2 防犯施設整備事業		部	生活安全部	課	交通防犯課
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急～誰もが安全で安心して暮らせるまち～			
	大施策(節)	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり（防犯）			
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成			
	具体的な施策	防犯施設の整備				
	事業内容	・町会自治会が設置管理する防犯灯に対し、設置は3分の2上限6万円（LED灯の場合8万円を限度に全額）、修繕は3分の2上限2万円、電気料は全額を補助する。計画に基づき防犯カメラを警察と協議しながら設置場所を決定し、整備する。				

事業の実施状況（見込み）		事業費（千円） （内一般財源）	事業の評価			
R4	町会自治会が設置・管理している防犯灯に対し補助金を交付し、整備を促進した。 市が設置した防犯カメラの保守点検等を実施した。	32,030 (内32,030)	① 活動の実施状況の評価			
			● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった			
R5	町会自治会が設置・管理している防犯灯に対し補助金を交付し、整備を促進した。 市が設置した防犯カメラの保守点検等を実施した。 防犯カメラ全102台のうち56台をクラウド化した。	31,193 (内31,193)	理由	② K P I 達成度		
				A:達成した(100%) ● B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)		
R6			理由	③ 成果向上のための課題と対応策		
				課題 ・防犯灯の管理体制について、町会自治会でばらつきがある。 ・耐用年数を経過した防犯カメラが多くなっている。 ・警察からの防犯カメラ映像提供依頼が増えていることから、防犯カメラの管理や映像取得業務に係る業務の効率化を図る必要がある。		
R7			対応	・防犯灯を次年度以降、計画的に更新・新設するため、町会自治会に調査を依頼する。 ・耐用年数を経過した防犯カメラが多くなっているため、更新し、クラウド化することにより、映像取得業務に係る業務の効率化を図る。		
				方向性 ● :現状のまま継続 :休止・廃止 :終了・完了 :見直して継続 :他事業と統合して継続 ↳ 重点化(拡充) 手段を改善 効率・簡素化 その他		

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
全防犯灯数	基	3,517	計画	3,620	3,660	3,700	3,740
			実績	3,515	3,561		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	3 交通安全指導・教育事業		部	生活安全部	課	交通防犯課
総合計画	施策の柱(章)	3	防災・防犯・消防・救急～誰もが安全で安心して暮らせるまち～			
	大施策(節)	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり（交通安全）			
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成			
	具体的な施策	交通安全意識の高揚				
	事業内容	・幼稚園及び保育所においては正しい道路の渡り方を、小学校及び中学校においては正しい自転車の乗り方を、高齢者施設においては交通ルールの再確認を中心に交通安全教室を実施する。また、通学路の主要な交差点等において交通指導員が子どもたちの安全を確保するため立哨を行う。また、併せて交通指導を行う。				

事業の実施状況（見込み）		事業費（千円） (内一般財源)	事業の評価					
R4	子ども達の発達段階に応じた交通安全教室を実施した。中学生においては、スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を2校で実施した。また、通学路の主要な交差点等において交通指導員が子どもたちの安全を確保するために立哨を行った。	13,009 (内13,009)	① 活動の実施状況の評価					
			● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった					
R5	子ども達の発達段階に応じた交通安全教室を実施した。中学生においては、スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を2校で実施した。また、通学路の主要な交差点等において交通指導員が子どもたちの安全を確保するために立哨を行った。	15,188 (内15,188)	理由	② K P I 達成度				
				A:達成した(100%) ● B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)				
R6			課題	③ 成果向上のための課題と対応策				
				交通安全教室の協力団体の会員数が減少しており、交通安全教室の開催が困難な場合がある。				
R7			対応	交通安全教室の内容や実施方法の変更を検討するとともに、協力団体の活動をPRする。				
				方向性				
			● :現状のまま継続		:休止・廃止		:終了・完了	
			:見直して継続		:他事業と統合して継続			
↳ 重点化(拡充)		手段を改善		効率・簡素化		その他		

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
交通安全教室参加者数／年間	人	7,986	計画	8,000	8,100	8,200	8,300
			実績	3,236	6,484		

総合戦略 事業評価シート

事務事業名	4 コミュニティ意識高揚事業			部	市民活力推進部	課	市民協働推進課
総合計画	施策の柱(章)	1	教育文化・コミュニティ～学びとつながりを大切にするまち～				
	大施策(節)	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり				
総合戦略	基本目標	4	自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成				
	具体的な施策	コミュニティ活動の推進					
	事業内容	・町会・自治会等の公民館を開放し、子どもを中心とした学びや遊びの場として、また、外国人住民との交流の場として活用し、地域のコミュニティ意識の醸成を図る。					

事業の実施状況（見込み）		事業費（千円） (内一般財源)	事業の評価					
R4	地域のコミュニティ意識の醸成を図ることを目的に、町会・自治会が実施する子どもや外国人住民等（町会自治会未加入者を含む）を対象とした交流事業等に対し「地域づくり活動促進事業補助金」を交付し支援する。 ※令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施する町会自治会が無かった。	0 (内0)	① 活動の実施状況の評価					
			● A:概ねできた(80%以上) B:あまりできなかった(80%未満) C:活動できなかった					
R5	地域のコミュニティ意識の醸成を図ることを目的に、町会・自治会が実施する子どもや外国人住民等（町会自治会未加入者を含む）を対象とした交流事業等に対し「地域づくり活動促進事業補助金」を交付し支援する。	200 (内200)	理由	1 件の町会・自治会に対して、未加入者を含めて行う新たな町会・自治会活動を支援することで、地域のコミュニティ意識の醸成を図ることができた。				
				② K P I 達成度				
R6			理由	A:達成した(100%) B:概ね達成できた(80%以上) C:達成できなかった(80%未満)				
				—				
R7			課題	町会自治会未加入者を含む住民が参加しやすい事業を、新たに企画する町会・自治会が少なく、新たに地域活動へ参加する人が増えない。				
				対応	各町会・自治会で新たな事業を実施できるよう、町会自治会連合会の会議等で、過去の実施事業を紹介する。			
方向性	● :現状のまま継続		:休止・廃止		:終了・完了			
	:見直して継続		:他事業と統合して継続					
	↳	重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化	その他			

KPI名	単位	策定時現状値		R4	R5	R6	R7
市民意識調査による、地域活動への参加状況 （「積極的に参加」「ときどき参加」の回答） ※無回答を除いて算出	%	17	計画	43	-	-	48
			実績	16	-		